

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立はるひ野中学校
校長 五十嵐 浩

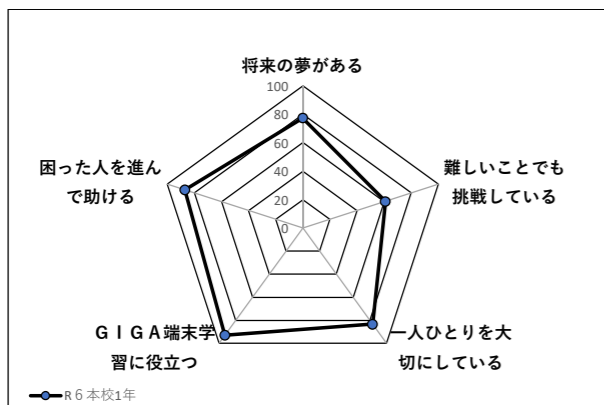
令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月11日（木）～12日（金）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面です。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）

- 自らの生き方やこれからの社会を見通し、よりよくするために必要な知識及び技能（知識及び技能の習得）
- 身近なことや社会の課題に気づき、他者との対話や議論を通して解決に向けた手だてやよりよい在り方を考えるための思考力、判断力、表現力（思考力、判断力、表現力等の育成）
- 多様性を認め、尊重し合いながら自他のよさを生かし、関わり合ってよりよく生きようとする態度（学びに向かう力、人間性等の涵養）

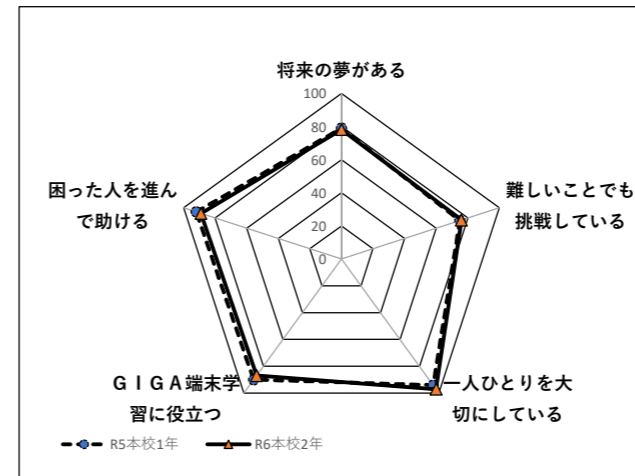
令和6年度 川崎市学習状況調査 1年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 授業わかる
R6本校1年	76.5	82.2	77.3
R6全体1年	69.8	76.7	77.3

- ・「5教科 わかる」は教科によって差が見られました。毎時間の学習のねらいを明確にし、また1時間ごとにきちんと振り返りを行うなどして、どの教科でも「わかる実感」を得られるように授業改善を行います。
- ・「自分には良いところがある」は73ポイントでした。学校教育目標「多様性を認め、尊重し合いながら自他のよさを生かし」を踏まえ、生徒が他者と関わり合いながら授業や行事等に取り組むことを大切に、自他のがんばり、よさを認め、伝え合う活動を重視していきます。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は77ポイントでした。キャリア在り方生き方教育を通して自分よさを見つめ、適性を知り、生き方を考える活動を重視します。
- ・「GIGA 端末は学習に役に立つ」は、93ポイントで、多くの生徒がGIGA 端末を学習活動に有効に活用しています。情報モラル教育やメディアリテラシー教育の充実をはかりながら、今後もGIGA 端末を有効に活用していきます。

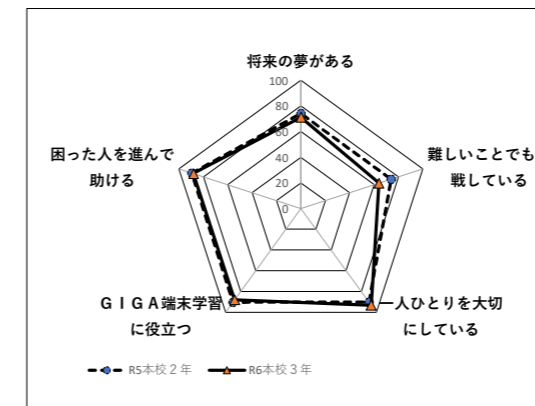
令和6年度 川崎市学習状況調査 2年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 授業わかる
R5本校1年	61.3	72.7	79.6
R6本校2年	56.2	69.5	76.9

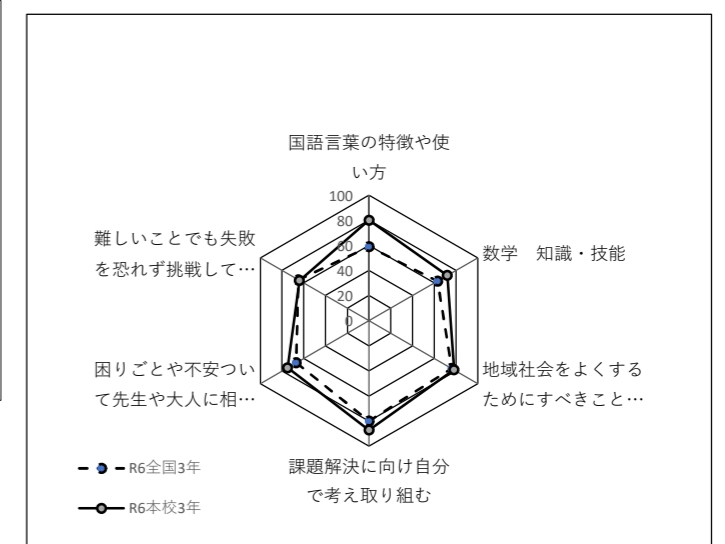
- ・国語・数学・英語・社会・理科の平均正答率は、全国平均、川崎市の平均を上回っています。国語・英語を「わかる」と感じている生徒の割合は昨年と比べて横ばい傾向ですが、数学を「わかる」と感じている生徒の割合が減少しています。「わかる」と感じる授業づくりに努めます。
- ・「将来の夢がある」「難しいことでも挑戦している」「難しいことでも挑戦している」については、全国平均を上回っています。キャリア在り方生き方教育や学校行事などを通して、将来への前向きな気持ちを育てていきます。
- ・「一人ひとりを大切にしている」「困った人を進んで助ける」についても、全国平均を上回っています。毎日の学校生活の中で、相手を思いやる気持ちを涵養していきます。
- ・「GIGA 端末は役に立つ」と感じている生徒の割合も高く、情報モラル教育やメディアリテラシー教育の充実に取り組んでいきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 3年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	5教科 授業わかる
R5本校2年	75.4	79	83.3
R6本校3年	79.4	75	76.1

全国学力・学習状況調査 3年生



- ・「英語の授業がわかる」の数値では、2年次より下回っています。単元の序盤では学習を見通す活動を重視し、終盤では振り返りをおこなうことで、「わかる実感」を得られるように授業改善を行います。
- ・全国調査「言葉の特徴や使い方」の数値では、全国平均を大きく上回っています。意見文や新聞を書く活動を重視した結果と思われるので、今後も継続していきます。それに対し、「難しいことでも挑戦している」では2年次より数値が下回っています。個に応じた手立てと目標を設定し、自ら課題を解決していく過程を通して、学習への達成感と自信をもたせていく授業を重視します。
- ・「困りごとや不安を先生や大人に相談できる」については、2年間を経て伸ばすことができました。かわさき共生共有プログラムの成果がでてきたものと思われます。自分や他者を大切にする活動を継続し、学校教育目標で掲げている「自他を尊重する思いやりの心の育成」を目指します。
- ・「GIGA 端末は役に立つ」については、2年次と同程度の数値となりました。授業での端末の使用が定着してきたものと思われます。今後は、より深い学びを達成するためのツールとしての使用を促進し、個別最適な学習を促進するよう授業改善を行います。